

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 奥付, その他

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/1315

国立国語研究所報告67

電子計算機による国語研究X

国立国語研究所

1980

刊行のことば

国立国語研究所が国語の調査研究のために電子計算機を導入して、すでに十四年の歳月が経過しようとしている。最初の機種はHITAC 3010であったが、昭和48年度にこれを HITAC 8250 に換え、さらに本年十二月からは HITAC M-150に更新することになった。また、49年度に設置した高速漢字プリンターも、本年度末には新機種に更新する運びになっており、昨53年度に導入したTSSグラフィック端末装置によって東大大型電子計算機センターの計算機を利用する道も開けている。

われわれは、幸いにこれら最新の設備を活用することができ、大量に言語データを蓄積しかつ分析する作業を展開すると同時に、機械による言語処理に関する方法の開発に工夫を重ねてきた。その研究の経過については、すでに9冊の報告書『電子計算機による国語研究』（Ⅰ～Ⅸ）に収めた論文で逐次発表しているが、このたび、昭和53、54年度の研究活動の結果である9編の論文に言語計量研究部の部内資料文献目録を添えて、シリーズの第10冊（国立国語研究所報告67）として公刊する。電子計算機応用言語研究の展開に寄与し、また、大方の教示、批判を得ることができれば幸いである。

昭和54年12月20日

国立国語研究所長 林 大

目 次

土屋 信一・中野 洋	高校教科書用語調査システムとその設計思想…… 1
鶴岡 昭夫	高校教科書用語調査の言語単位について……………20
土屋 信一	言語情報処理における語の把握……………52
鶴岡 昭夫	漱石『坊っちゃん』と鷗外『雁』における助詞 「へ」と「に」の比較……………65
斎藤 秀紀	分散処理システムへの試み……………73
中野 洋	文献検索システム IRON ……………89
田中 卓史	文字の統計—グラフィック端末による分析—… 107
佐竹 秀雄	表記行動のモデルと表記意識…………… 142
野村 雅昭	漢字のパターン分類…………… 169
〔付 録〕	言語計量研究部 部内資料文献目録 …………… 187

昭和55年 3 月

国 立 国 語 研 究 所

東京都北区西が丘3丁目9番14号
電 話 東 京 (900) 3111(代表)

UDC 809.56 : 681.3

NDC 810.9

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版社	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 ——白河市および付近の農村における——	〃	〃
3	現 代 語 の 助 詞・助 動 詞 ——用 法 と 実 例——	〃	2,000円
4	婦 人 雑 誌 の 用 語 ——現代語の語彙調査——	〃	品切れ
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における実態調査——	〃	〃
6	少 年 と 新 聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	〃	〃
7	入 門 期 の 言 語 能 力	〃	〃
8	談 話 語 の 実 態	〃	〃
9	読 み の 実 験 的 研 究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	〃	〃
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
11	敬 語 と 敬 語 意 識	〃	〃
12	総 合 雑 誌 の 用 語(前編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
13	総 合 雑 誌 の 用 語(後編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
14	中 学 生 の 読 み 書 き 能 力	〃	400円
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	〃	品切れ
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	〃
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	〃
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) ——対話資料による研究——	〃	〃
19	総 合 雑 誌 の 用 字	〃	〃
20	同 音 語 の 研 究	〃	〃
21	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) ——総記および語彙表——	〃	〃
22	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) ——漢 字 表——	〃	〃
23	話 し こ と ば の 文 型 (2) ——独話資料による研究——	〃	〃

24	横組みの字形に関する研究	秀英出版刊	品切れ
25	現代雑誌九十種の用語用字(3) ——分析——	〃	〃
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程 ——北海道における親子三代のことば——	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	〃	〃
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本語地図(1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日本語地図(2)	〃	〃
30-3	日本語地図(3)	〃	〃
30-4	日本語地図(4)	〃	〃
30-5	日本語地図(5)	〃	〃
30-6	日本語地図(6)	〃	10,000円
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	450円
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	〃	品切れ
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究(Ⅱ) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	〃	450円
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	5,000円
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	1,300円
38	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)	〃	2,800円
39	電子計算機による国語研究(Ⅲ)	〃	700円
40	送りがな意識の調査	〃	1,500円
41	待遇表現の実態 ——松江24時間調査資料から——	〃	900円
42	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)	〃	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	〃	5,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	〃	3,000円
45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(Ⅳ)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) ——性向語彙と価値観——	〃	700円

48	電子計算機による新聞の語彙調査(IV)	秀英出版刊	3,000円
49	電子計算機による国語研究(V)	〃	900円
50	幼児の文構造の発達 ——3歳～6歳児の場合——	〃	品切れ
51	電子計算機による国語研究(VI)	〃	1,000円
52	地域社会の言語生活 ——鶴岡における20年前との比較——	〃	1,800円
53	言語使用の変遷(1) ——福島県北部地域の面接調査——	〃	2,500円
54	電子計算機による国語研究(VII)	〃	1,000円
55	幼児語の形態論的な分析 ——動詞 形容詞 述語名詞——	〃	品切れ
56	現代新聞の漢字	〃	3,000円
57	比喩表現の理論と分類	〃	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(VIII)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 ——フォネーム研究序説——	〃	2,500円
61	電子計算機による国語研究(IX)	〃	1,300円
62	研究報告集(1)	〃	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研究報告集(2)	〃	
66	幼児の語彙能力	東京書籍刊	
67	電子計算機による国語研究(X)	秀英出版刊	

国立国語研究資料集

1	国語関係刊行書目(昭和17～24年)	秀英出版刊	45円
2	語彙調査 ——現代新聞用語の一例——	〃	品切れ
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語学関係刊行書目	〃	〃
5	沖繩語辞典	大蔵省印刷局刊	3,800円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,600円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)	〃	500円

9	牛店 雑誌	安 愚 楽 鍋 用 語 索 引	〃	1,500円
10		方 言 談 話 資 料(1)——山形・群馬・長野——	〃	6,000円
10-2		方 言 談 話 資 料(2)——奈良・高知・長崎——	〃	6,000円

国立国語研究所論集

1	こ と ば の 研 究	秀英出版刊	品切れ
2	こ と ば の 研 究 第2集	〃	〃
3	こ と ば の 研 究 第3集	〃	〃
4	こ と ば の 研 究 第4集	〃	1,300円
5	こ と ば の 研 究 第5集	〃	1,300円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭 和 24 年 度	品切れ	16	昭 和 39 年 度	品切れ
2	昭 和 25 年 度	〃	17	昭 和 40 年 度	250円
3	昭 和 26 年 度	160円	18	昭 和 41 年 度	380円
4	昭 和 27 年 度	160円	19	昭 和 42 年 度	300円
5	昭 和 28 年 度	品切れ	20	昭 和 43 年 度	品切れ
6	昭 和 29 年 度	200円	21	昭 和 44 年 度	〃
7	昭 和 30 年 度	品切れ	22	昭 和 45 年 度	400円
8	昭 和 31 年 度	〃	23	昭 和 46 年 度	450円
9	昭 和 32 年 度	〃	24	昭 和 47 年 度	450円
10	昭 和 33 年 度	〃	25	昭 和 48 年 度	品切れ
11	昭 和 34 年 度	〃	26	昭 和 49 年 度	600円
12	昭 和 35 年 度	350円	27	昭 和 50 年 度	700円
13	昭 和 36 年 度	160円	28	昭 和 51 年 度	非売
14	昭 和 37 年 度	220円	29	昭 和 52 年 度	〃
15	昭 和 38 年 度	250円	30	昭 和 53 年 度	700円

国 語 年 鑑 秀英出版刊

昭 和 29 年 版	品切れ	昭 和 35 年 版	品切れ
昭 和 30 年 版	〃	昭 和 36 年 版	〃
昭 和 31 年 版	〃	昭 和 37 年 版	〃
昭 和 32 年 版	〃	昭 和 38 年 版	〃
昭 和 33 年 版	〃	昭 和 39 年 版	〃
昭 和 34 年 版	〃	昭 和 40 年 版	1,000円

昭和 41 年版	品切れ	昭和 48 年版	2,700円
昭和 42 年版	1,100円	昭和 49 年版	3,800円
昭和 43 年版	品切れ	昭和 50 年版	3,800円
昭和 44 年版	1,500円	昭和 51 年版	4,000円
昭和 45 年版	1,500円	昭和 52 年版	4,500円
昭和 46 年版	2,500円	昭和 53 年版	4,600円
昭和 47 年版	2,200円	昭和 54 年版	4,800円

日本教育教材

1	日本語と日本語教育 ——国語シリーズ別冊——	国立国語研究所 文化庁 共編	大蔵省印刷局刊	650円
2	日本語と日本語教育 ——国語シリーズ別冊——	国立国語研究所編	〃	850円
3	日本語の文法(上)	〃	〃	〃

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ

日本語教育教材映画一覧

(各巻16ミリカラー, 5分, 日本シネセル社販売)

巻	題 名	プリント価格
第1巻	これはかえるです ——「こそあど」+「は～です」——	30,000円
第2巻	さいふはどこにありますか ——「こそあど」+「が～ある」——	〃
第3巻	やすくないです, たかいです ——形容詞とその活用導入——	〃
第4巻	なにをしましたか ——動 詞——	〃
第5巻	しずかなこうえんで ——形容動詞——	〃
第6巻	さあ, かぞえましょう ——助 数 詞——	〃
第7巻	うつくしいさらになりました ——「なる」「する」——	〃
第8巻	きりんはどこにいますか ——「いる」「ある」——	〃
第9巻	かまくらをあるきます ——移動の表現——	〃
第10巻	おかねをとられました ——受身の表現——	〃
第11巻	どちらが好きですか ——比較・程度の表現——	〃
第12巻	もみじがとてもきれいでした ——「です」「でした」「でしょう」——	〃
第13巻	きょうはあめがふっています ——「して」「している」「していた」——	〃
第14巻	そうじはしてありますか ——「してある」「しておく」「してしまう」——	〃

第15巻	おみまいにいきませんか ——依頼・勧誘の表現——	30,000円
第16巻	なみのおとがきこえてきます ——「いく」「くる」——	〃
第17巻	「みずうみのえを かいたことがありますか」——経験・予定の表現——	〃
第18巻	「あのいわまで およげますか」——可能の表現——	〃
第19巻	「よみせを みに いきたいです」——意志・希望の表現——	〃

(第1巻～第3巻は、文化庁との共同企画・VTR価格1/2インチオープンリール
21,000円、3/4インチカセット20,000円)

STUDIES IN COMPUTATIONAL
LINGUISTICS

TSUCHIYA Shin'ichi·NAKANO Hiroshi :

A Program System of Vocabulary Survey and its Ideas.

TSURUOKA Akio :

The Counting Units in Vocabulary Survey of High School Textbook.

TSUCHIYA Shin'ichi :

The Method to Describe Word in Language Data Processing.

TSURUOKA Akio :

A Study on the Usage of "e" and "ni" in Novels "Botchan" and
"Gan".

SAITO Hidenori :

Described Language Data Processing.

NAKANO Hiroshi :

A System of Document Retrieval —IRON—.

TANAKA Takushi :

Statistics of Japanese Characters — Analyses by Computer Graphic
Terminal—.

SATAKE Hideo :

A Model of Writing and the Consciousness of Writing System.

NOMURA Masaaki :

Classification of Chinese Characters by Statistical Method.

Appendix: Index to "Studies in Computational Linguistics"

Nos. 1-X, and others.

1980

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE